

## R5 高校生ものづくりコンテスト（溶接作業部門）島根県大会結果報告

R7 年度には島根県で初の「ものづくりコンテスト中国大会」が島根県立西部高等技術校（益田市）で開催されます。そのため、今年の中国大会（岡山）には県内の各工業高校から機械系学科に所属される先生方が運営方法についての視察にいらっしゃいます。

そのような背景の中、7月21、22日に島根県立出雲工業高校において、中国大会の役員の養成も兼ねて県内各工業高校機械系の先生が多数参加され、また、県内各校より計9名の選手が参加して県予選大会が開催されました。

課題は、50分間で圧力容器（立方体の容器）をアーク溶接（電気溶接）によって作り上げるというものです。評価については、水圧を加えることによる耐圧検査、作業を時間内に終える作業スピード、作業の安全性、更には、溶接部位の正確さ、美しさ等を外部企業の専門の先生方を招き、多方面に渡る審査をして頂きました。

本校からは機械科3年の若林翔也君、佐藤渚斗君、高塚想空君の3人が出場しました。暑い中、沢山の役員の先生方の視線が競技に対して注がれる緊張感の中、3人とも課題を見事に完成しました。その結果、佐藤君が2位、高塚君が3位に入賞し、8月8、9日に岡山県で開催される中国大会に出場することが決定しました。

会場校である出雲工業高校の先生方を始め、外部企業の先生方、各校から審判等をして頂いた先生方、たいへんお世話になりました。特に島根県溶接協会さんの配慮で最新鋭の3D溶接シミュレータをご紹介いただき、教員、生徒共々、たいへんに勉強になりました。ありがとうございました。

